

公 表 日
平成 年 月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成30年度大分川・大野川河川水位予測システム構築業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 今田 一典 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契約年月日	平成30年 5月10日
契約業者名	(株) 建設技術研究所九州支社
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	19,548,000円(税込み)
予定価格	19,602,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	大分県大分市西大道1丁目1番71号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	平成30年 5月11日
履行期間(至)	平成31年 2月20日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成 30 年度大分川・大野川河川水位予測システム構築業務
2. 履行場所 大分県大分市西大道 1 丁目 1 番 7 1 号
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社 建設技術研究所九州支社
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第 29 条の 3 第 4 項及び
予算決算及び会計令第 102 条の 4 第 3 号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、洪水予測精度向上を目的に、「洪水予測基幹システム」の仕様に基づき、新たに大分川及び大野川の河川水位予測システムの構築を行うものである。また、既存の洪水予測システムに内水予測機能を追加する。

2) 業務の内容

本業務は、資料収集・整理、河川水位予測システムの構築、内水予測機能追加を行うものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低 20 者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を 20 者が入手（ダウンロード）し、1 者から参加表明書が提出され、1 者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち 1 者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における「実施フローの工夫」、「工程計画の工夫」が記載されていること、及び特定テーマの「大分川及び大野川水系の流域特性を踏まえた洪水予測精度向上の留意点について」について総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第 29 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 102 条の 4 第 3 号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 調査第一課長